

## 活動事例

## 産業界支援

## 登り窯の性能評価と焼成支援

## 支援先

笠間工芸の丘株式会社、笠間焼協同組合



図 1 崩壊した登り窯

## 【背景】

東日本大震災で崩壊した登り窯（図 1）の再建・復興に関して、性能評価と焼成技術について支援を行いました。

登り窯焼成による陶器は、その微妙な仕上がり具合を「景色」として人気を博しますが、温度管理に熟練を要するのが難点です。

焼成や窯出しは研修生への技術伝承をねらい、笠間焼後継者育成事業の研修の一環として当所職員とともに担当し、笠間焼の観光資源として活躍が期待されます。

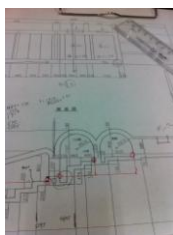


図 2 性能評価



図 3 窯出し

## 【支援内容】

- 1) 登り窯性能評価（設計・構造の評価、使用材料の確認、試験焼成の評価）→1,300 度の焼成に耐えうると評価（図 2）
- 2) 第 32 回陶炎祭の土面焼成（地元小学生 740 名分）
- 3) 純笠間カップ焼成試験（300）
- 4) 登り窯焼成事業（陶芸教室の作品約 500 点）（図 3）

## 基礎となった事業

平成 25 年度 試験研究指導費（技術相談）

## 現在の担当部門

工芸技術部門

部 門 長

佐藤 茂

TEL:0296-72-0316

主任研究員

常世田 茂

主 任

久野 亘央